

人と水がおりなす 魅力ある地域づくり

第7回

みちのくダム湖サミット

in 玉川

入場無料

平成27年
日時 10・15 木
14:30~17:30
13:15~受付開始
会場 駒ヶ岳グランドホテル
(2階ロイヤルホール)
仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-30

第7回 みちのくダム湖サミット in 玉川 プログラム

- 14:15** 仙北市市制10周年記念 歓迎アトラクション
- 14:30** 開 会
- 14:45** **1部** 基調講演
最近の河川環境行政の話題
【講師】小俣 篤氏
(国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長)
- 15:25** **2部** ダム湖サミット
ダム水源地域の現状とこれから
～流域内の連携と地域づくり～
【コーディネーター】秋田大学大学院工学資源学研究所 松富 英夫 教授
【パネリスト】北秋田市長 津谷 永光 氏 (森吉山ダム水源地域)
仙北市長 門脇 光浩 氏 (玉川ダム水源地域)
長井市長 内谷 重治 氏 (長井ダム水源地域)
雫石町長 深谷 政光 氏 (御所ダム水源地域)
川崎町長 小山 修作 氏 (釜房ダム水源地域)
- 17:25** みちのくダム湖サミット宣言
- 17:30** 閉 会

国直轄ダムとして東北随一の貯水量を誇る玉川ダムは、洪水調節、河川環境の保全、農業用水の補給、工業用水・水道用水の供給、発電といった6つの役割を担っており下流域の皆さまの生活を支えてくれる重要な施設です。
今回開催する「みちのくダム湖サミット in 玉川」では、第1部で小俣篤氏(国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長)による基調講演を、第2部のパネルディスカッションでは、ダム水源地域の現状をふまえ、今後、人と水がおりなす魅力ある地域づくりを目指すために、いかに流域内が連携していくかを皆さまと共に考えていきたいと思います。
今回はダム管理移行25周年と仙北市市制10周年を記念して、地元芸能団体による歓迎アトラクションも予定しています。皆さまぜひおこしく下さい。

まちづくり
日記

No.89

『未来を信じて』

仙北市長 門脇 光浩

市政10年の様々な記録を見て、改めて市民の皆様と過ごした歳月を顧みます。難題が山積みだった合併構想の策定では、会議録を読むだけでも、どれほど激論が交わされていたかが分かります。文字には残っていない、しかし大変に重要な取りが多数あったこともお聞きしています。当時、県議会に籍を置いていた私は、それらを後で知り置いた。改めて諸先輩の皆様の努力に敬意を表したいと思います。

それから10年、あの当時の理想にどれだけ近づけたでしょうか。最善の努力をして来たことは間違いありません。しかし予期しない災害や、事件・事故の発生が続く、市民の皆様が期待したスピード感を発揮できなかったことは、本当に申し訳なく感じています。また、仙北市は2町1村の合併で、市行政は初めての経験でした。当初は他市と比べて見劣りする場面も多かったと思います。しかし現在は他の先輩自治体と、何とか肩を並べるといえるまで到達できています。

地方自治は、住民一人ひとりの行政参加意欲、責任意識で大きく変容すると言

われています。ひびくと言っている市民力です。この点について、ここ数年で相当パワーアップしてきたと感じています。それぞれの地域には核になる組織が誕生し、自治の気概に燃え課題解決に向けた行動が始まっています。また個人・団体・企業では、先進的な取り組みを行う事例など、多くの実績を生み出しています。仙北市はゆっくりですが(人口は減少していますが)、確実に成長しています。危機的な場面では、市民の皆様がその一つひとつを受け止め、ともに解決してきた経験があります。そして誰もが、より良い未来を信じています。この心持ちがあれば困難な課題に挑戦できます。

人は、つらい経験が多いほど他者に優しくなれる、小さな幸せにも、心を満たすことができるようになると思います。仙北市民は手を携え、苦難を乗り越えてきたことで、支え合う尊厳を知り尽くしています。良いまちにならないわけがありません。

市民の皆様には、お礼の言葉を見つけていきたいと思います。感謝の気持ちで

かくのだてフィルムコミッション

ロケーションだより

Kakunodate Film Commission

かくのだてフィルムコミッション
(仙北市観光課内)
☎43-3352
<http://kakunodate-fc.jp/>

仙北市市制10周年おめでとうございます。かくのだてフィルムコミッションは、13年前の旧角館町時代に設立されましたが、合併後は仙北市全域に範囲を広げて活動してきました。フィルムコミッションの組織構成も角館だけではなく、仙北市内から幅広く参加していただいています。また、撮影の舞台となるロケーションも広範囲となり、様々な撮影に対応できるようになりました。これまで以上に撮影がスムーズに運ぶようになったことを実感しています。

仙北市になってからの撮影支援で印象深いのは、2009年の4月から放送された松田翔太、香椎由宇、木村祐一出演のTVドラマ「名探偵の掟」の第一話です。殺人事件の現場が雪深い山村という設定でしたが、3月下旬で全国的に雪が残っている口



雪深い松田内での『名探偵の掟』撮影風景

ケーションが少ない中、西木町松田内での撮影が決まりました。西木町在住の多数の方からエキストラとしてご協力をいただきました。地元がTVドラマの撮影現場になるということで、エキストラの方々も大分盛り上がりつつあることが思い出されます。他にも様々な撮影のシチュエーションが求められ、田沢湖生保内の蔵、角館町の武家屋敷通り等仙北市全域で撮影が行われました。

これからも、このような仙北市全域での撮影を迎えられるようにがんばっていききたいと思います。また、今まで以上に映像を通して地域を全国、世界に発信していきたいと強く思っていますので、市民の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。
(会長 坂本 洋)